

科目名	専攻ゼミⅡ(設計)(必修選択)						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	古賀俊光		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科 2年						
授業概要	前期の授業を踏まえ、各年代の代表的な建築物の分析・考察を通して、自分なりの設計プロセスを組み立て、プレゼンテーションできる力を更に重点的に知識を深め、よりリアルな形にする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				前期の調査を元に問題点、課題点の解決ができる。		
	○				計画立案からの設計プロセスの流れまで一通り実行できる。		
	○				各年代の建築物の特徴、課題点を分析し、応用ができる。		
	○	○			1年間の総決算として建築設計のプレゼンテーションを完成させる。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第3課題課題説明					
	2	ディスカッション「今の建築」※各自のテーマを見つけ出す					
	3	実例資料集め(各年代のデザイン手法・材料・寸法)					
	4	実例資料集め(各年代のデザイン手法・材料・寸法)および分析					
	5	コンセプトの策定					
	6						
	7	第1プランのゾーニング					
	8	第1プランのエスキース					
	9	第1プランの講評・作り直し(手直し)					
	10	第2プランのゾーニング					
	12	第2プランのエスキース					
	13	第2プランの講評・作り直し(手直し)					
	14	第3プランのゾーニング					
	15	第3プランのエスキース					
	16	第3プランの講評・作り直し(手直し)			前回授業内容の復習と、未完の作業がある場合は次回までに作業を終えておくこと		
	17	中間発表資料作成					
	18	中間発表・講評					
	19	中間発表を受けての修正(手直し)					
	20	図面作成(配置図および屋根伏図)					
	21	図面作成(各階平面図)					
	22	図面作成(各階平面図)					
	23	図面作成(立面図・断面図)					
	24	図面作成(3D)					
	25	図面作成(3D)					
	26	模型製作					
	27	模型製作					
	28	模型製作					
	28 29	プレゼンテーション資料作成					
	30	発表・講評					
	評価方法	出席率及び提出作品(期限、完成度)に加え、ディスカッション時の積極性(発言回数、意見内容の整合性)により評価する。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		提出作品	○				80%
		発表・ディスカッション	○		○		20%
履修上の注意	出席率60%が単位付与の条件						

科目名	卒業制作							
科目名(英)	Architectural Diploma design of Housing and Urban Planning majors							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中島 潤			
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	建築学科 2年							
授業概要	今まで学んできた建築学・計画学の積み重ねの集大成として位置付けている。社会問題や環境問題、身の回りの課題など、テーマを自由に設定し、それを「建築」という手段で解決に向かう一連の作業である。また指導に際しては、その一連の作業が社会で仕事を遂行する訓練として位置付けており、基本的な作業(準備、段取り、調査、説明など)から評価の対象とする。また、自分の意思表現でもあるプレゼンテーションにおいては、厳しく指導を進めることとする。人に伝えるとは何か、また、建築が解決できることは何か、常に物事の本質に向かう姿勢を大切に指導を行うものとする。							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他			
	○				対象敷地を定め、周囲環境、コンテキスト等を調査しまとめることができる。			
		○			建築計画を立案し、具体的な設計内容を、ダイアグラムや図面、模型を作成しまとめることができる。			
		○			客観的・多角的な目線で計画内容を再検討し、ブラッシュアップすることができる。			
			○		計画案について魅力的に発表することができる。			
	○				他者の作品に対し、的確にアドバイスすることができる。			
テキスト・教材 参考図書	テキスト:なし、参考図書:建築設計資料集成、新建築および各種建築書籍資料等							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1 2	ガイダンス:卒業制作の概要と前期作業内容の解説			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	3 4	エスキス:テーマ設定(調査資料、作業資料、敷地図面等による確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	5 6	エスキス:コンセプト設定(ダイアグラム、図面、スタディ模型等による確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	7 8	エスキス:計画案の概要設定(ダイアグラム、図面、スタディ模型等による確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	9 10	発表:取り組み課題とその計画案について発表(PC+プロジェクター/1人5分程度)			講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	11 12	エスキス:計画案設計作業(全体設定、詳細設計等具体的な内容確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	13 14	エスキス:計画案設計作業(全体設定、詳細設計等具体的な内容確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	15 16	エスキス:計画案設計作業(全体設定、詳細設計等具体的な内容確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	17 18	発表:計画内容の詳細発表(PC+プロジェクター/1人5分程度)			講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	19 20	エスキス:プレゼンテーション作業(最終図面、解説文、解説用図版、模型等の確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	21 22	エスキス:プレゼンテーション作業(最終図面、解説文、解説用図版、模型等の確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	23 24	エスキス:プレゼンテーション作業(最終図面、解説文、解説用図版、模型等の確認)			スケッチブックを常備し、毎日検討を進めること。調査資料、作成資料はスケッチブックに貼り付け、まとめていくこと。			
	25 26	発表:最終発表(PC+プロジェクター/1人5分程度)			講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	27 28	最終成果手直し			講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	29 30	最終成果手直し+最終提出			講評における評価・指導内容を客観的に見つめ直し、作品のブラッシュアップにつなげること。			
	評価方法	課題作品、エスキスチェック、発表を、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		課題作品	○	◎		○		80%
		エスキスチェック	○	◎		○		10%
発表		○	◎		○		10%	
履修上の注意	出席が2/3回に満たない場合は、単位を付与しない。							

科目名	AutoCAD II						
科目名(英)	AutoCAD practice II						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	福光 春子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	建築学科 2年						
授業概要	演習を通して、レイアウト空間での印刷スキルの習得及びCAD操作の正確さ、図面の読図能力、応用力の習得を図る						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				建築設計ツールの一つであるAutoCADの機能について学び、必要な機能を選択し使用することができる。	
	○	○				授業を通じて図面の種類を学び、図面と図面の関係性を立体的に捉え作図することができる。	
	○	○				意匠図の作図を通じて部屋の広さや高さを学び、建物の計画に応用することができる。	
	○	○		○		構造図面の作図を通じて木造住宅の構造を学ぶと共に、部材の名称を答えることができる。	
	○	○		○		授業を通して建築図面の作図手順を学び、建築計画時に応用することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:超入門 建築製図(市ヶ谷出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	2	鉄筋コンクリート住宅 1階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	3	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	4	鉄筋コンクリート住宅 2階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	5	鉄筋コンクリート住宅 断面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	6	鉄筋コンクリート住宅 断面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	7	鉄筋コンクリート住宅 立面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	8	鉄筋コンクリート住宅 立面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	9	鉄筋コンクリート住宅 配置図、レイアウト空間での印刷			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	10	鉄骨造住宅 1階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	11	鉄骨造住宅 1階平面図②、鉄骨造住宅 3階平面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	12	鉄骨造住宅 2階平面図②			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	13	鉄骨造住宅 断面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
	14	鉄骨造住宅 断面図②、鉄骨造住宅 立面図①			オリジナルプリント 建築製図 基本の基本(学芸出版社)		
15	鉄骨造住宅 立面図②、印刷			授業内容の復習 データ提出			
評価方法	(1) 練習問題を数回実施する。(2) 授業課題の提出を求める。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習問題	○	○				10%
	課題提出状況				◎		30%
	習熟度(スピードと正確さ)	◎	◎				50%
	出席率				○		5%
	授業態度				○		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合、提出課題が未提出の場合は履修単位を与えない。						

科目名	Photoshop Illustrator II						
科目名(英)	Photoshop Illustrator II						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松本剛太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科2年						
授業概要	Illustratorの基本操作と、業界における重点を学ぶ それら基礎知識の浸透が目的						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				Illustratorの役割を理解する	
	○	○				Illustratorによる適切なレイアウト処理ができる	
	○	○				画像の基礎知識を理解している	
	○	○				Photoshopとの連携を意識した処理ができる	
テキスト・教材 参考図書	情報リテラシー Office2016						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	IllustratorとPhotoshopの基本 ベクトルとラスターの理解				Illustratorのインストール	
	2	図形や線を描く					
	3	オブジェクトの選択と基本的な変形					
	4	色と透明度の設定 CMYK版について					
	5	オブジェクトの編集と合成					
	6	線と文字の設定					
	7	その他有効活用すべき機能					
	8	紙面レイアウト演習1 文字の役割					
	9	紙面レイアウト演習2 段組の活用					
	10	PhotoshopとIllustratorの連携 画像の配置とその機能特性					
	11	Illustrator練習問題1 練習問題の解説					
	12	Illustrator練習問題2 練習問題の解答					
	13	Illustrator練習問題 回答と解説					
	14	Illustrator練習問題3 解説なしでの独力解答					
15	Illustrator練習問題3 解答と解説						
評価方法	習問題を小テストとして評価 2種実施、その提出により評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				100%
履修上の注意							

科目名	就職実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科 2年						
授業概要	就職活動に必要な基礎知識を備えた人材の育成 就職活動における作品集作成や履歴書記入方法など、社会人になる上でのスキルを身につける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					就職活動における企業研究が行うことができる	
	○					自己分析を行うことができる	
	○					作品集を作成し就職活動ができる	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック 社会人研修ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	2	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	3	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	4	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	5	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	6	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	7	就職活動の状況報告 就職の求人情報の伝達					
	8	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	9	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	10	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	11	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	12	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	13	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
	14	就職活動の状況報告/就職の求人情報の伝達 ビジネスマナー 復習					
15	社会人研修						
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		60%
	受講態度・意欲	○	○				30%
	課題の提出	○	○				10%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする						

科目名	建築士対策（計画）						
科目名(英)	Architectural Planning						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森行 美枝		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科2年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。	
	○	○				日照・日射・採光の図形を見て、出題問題の正解が導き出せる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
○	○				住宅から公共建築物まで、特徴や都市における役割など、正解を選択できる。		
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築計画 総合資格 厳選問題集500+100。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 気候					
	2	第2章 伝熱・結露			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第3章 日照・日射・採光 第4章 音響			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第5章 色彩			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第6章 環境工学融合			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第7章 空気調和設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第8章 給水設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第9章 排水衛生設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第10章 電気・照明設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第11章 消火・防災設備			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第12章 設備融合			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第13章 建築史 第14章 計画一般			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第15章 住宅			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第16章 商業建築 第17章 公共建築			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
15	第18章 地域計画 第19章 各論融合			今までの復習プリントで復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（法規）						
科目名(英)	Building regulations						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今泉清太		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	建築学科2年						
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。建築基準法 パリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	△			法令集の準備が完了している。使用方法が理解している。	
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。	
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。	
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式につて正解を選択できる。	
○	○				法令集を使用して、各章の答えを導かせることができる。		
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築法規 総合資格 厳選問題集500+100。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 総則 用語の定義 面積・高さ等の算定方法					
	2	第1章 総則 確認済証の交付				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第1章 総則 手続き等(中間検査等)				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第2章 一般構造等 一般構造 建築設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第3章 構造強度				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第4章 防火関係 防火構造等 法22条区域内の建築物				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第4章 防火関係 耐火・準耐火建築物 防火・準防火地域				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第4章 防火関係 防火区画・間仕切壁 内装制限等				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第5章 都市計画区域等の制限 道路・壁面線				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第5章 都市計画区域等の制限 用途地域				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第5章 都市計画区域等の制限 容積率・建ぺい率				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第5章 都市計画区域等の制限 高さの制限 日影規制				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第6章 雑則				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第7章 その他の関係法令 パリアフリー法 耐震改修促進 法				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
15	第7章 その他の関係法令 建築士法 都市計画法 その他				今までの復習プリントで復習		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	60%出席を単位付与条件とする。						

科目名	建築士対策（構造）						
科目名(英)	Building construction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	黒木		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科2年						
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。構造物と力 静定構造物の応力トラス 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料概要。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				工事契約の仕組みを理解し、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。		
テキスト・教材 参考図書	確認、復習テストプリント 市ヶ谷出版 建築構造 総合資格 厳選問題集500+100。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 構造物と力			第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく		
	2	第2章 静定構造物の応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	3	第3章 特定トラスの応力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	4	第4章 断面の性質			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	5	第5章 応力度と許容応力度			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	6	第6章 変形と不静定構造物			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	7	第7章 荷重・外力			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	8	第8章 地盤と基礎構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	9	第9章 木構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	10	第10章 鉄筋コンクリート構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	11	第11章 鉄骨構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	12	第12章 その他の構造			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	13	第13章 構造設計			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
	14	第14章 建築材料			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング		
15	第14章 建築材料			今までの内容を復習する			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	建築士対策（施工）						
科目名(英)	Building Construction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	集路		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築学科2年						
授業概要	以下の項目について基本知識を理解し習得する。 工事監理 施工業務 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				工事契約の仕組を理解し、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、建築士問題が解ける	
	○	○				鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける	
	○	○				防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける	
	○	○				積算に関する知識を試す問題が解ける。	
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科IV施工						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 工事契約					
	2	第2章 工事監理・施工業務				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	3	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	4	第5章 土工事・基礎地業工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	5	第6章 鉄筋コンクリート工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	6	第7章 鉄骨工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	7	第8章 コンクリートブロック工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	8	第9章 木工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	9	第10章 防水・屋根工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	10	第11章 左官工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	11	第12章 タイル・張石工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	12	第13章 塗装工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	13	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	14	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング	
	15	第18章 用語・機械 第19章積算				今までの内容を復習する	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	復習問題	○	○				20%
履修上の注意	出席60%以上が単位付与の条件・						

科目名	検定対策ゼミⅡ(2級建築施工管理技士資格試験)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	集路 正巳		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築系全学科 2年						
授業概要	前期の授業を踏まえ、2施工_学科試験合格を視野に、問題読解に必要な知識を要点を絞り込んで身につけていきます。 また、理解度確認のため小テスト、模擬テストを複数回、実施し実力をつけていきます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。	
	○	○				小テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト(2019年度版)市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集(2019年度版)市ヶ谷出版社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	建築学 / 環境工学 / 構造力学				・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内容に係る複数回、小テスト・模擬テストを実施するので、復習しておくこと	
	2	一般構造/建築材料					
	3	共通 / 舗装・植栽工事 / 建築設備					
	4	設計図書・測量/建築法規 / 建築基準法					
	5	建設業法/労働基準法					
	6	労働安全衛生法/ 環境保全関係法、その他					
	7	施工管理法/ 施工計画/工程管理					
	8	品質管理/ 安全管理					
	9	建築施工 / 地盤調査 / 仮設工事					
	10	地業/ 土工事					
	11	鉄筋コンクリート工事 / 特殊コンクリート工事					
	12	鉄骨工事 / 木工事					
	13	防水工事、石工事 / タイル工事、屋根工事					
	14	金属工事、左官工事 / 建具工事、塗装工事					
15	内外装工事、建設機械						
評価方法	(1)授業の中で小テストを基本毎回、実施する。(2)確認テスト(模擬テスト)を実施する。 (3)出席状況、受講態度を評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・受講態度				◎		30%
	小テスト、模擬テスト		◎		○		70%
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。						

科目名	BIM 専攻 II B(選択)						
科目名(英)	Building Information Modeling II B						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	道脇 力		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	建築系2年共通						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の制作を通じた実践的な表現技術の習得。 ・各用途の建築計画的理解と表現。 						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○	○			ゾーンツールを使ってポリウムスタディができる。	
			○	○		BIMワークフローにより効率よく設計ができる。	
		○	○			BIMを活用したプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	木造住宅入力ガイド(グラフィソフト提供トレーニングドキュメント)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	課題:複合ビル「制作②」			情報、資料収集を行うこと		
	2	課題:複合ビル「制作③」			情報、資料収集を行うこと		
	3	課題中間報告(発表)			発表資料の確認を行うこと		
	4	課題:複合ビル「制作④」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	5	課題:複合ビル「制作⑤」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	6	課題:複合ビル「制作⑥」			タイムスケジュールの確認を行うこと		
	7	課題:複合ビル「制作⑦」			必要提出資料の確認を行うこと		
	8	課題プレゼンテーション(発表)「プレゼン資料提出」			必要提出資料の確認を行うこと		
評価方法	(1)出席状況 (2)受講態度・意欲 (3)課題の提出 以上の内容を総合的に判断し R評価(可、不可)で判断する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品		◎		○		50%
	課題提出		◎		○		50%
履修上の注意	出席が60%に満たない場合は、単位を認めない。						